

文化シャッターと提携

小松電機 シートシャッターで

【松江】小松電機産業（本社
島根県八束郡八雲村、社長小松
昭夫氏、資本金九百五十万円、
☎0852・54・1166）

はこのほど、文化シャッターと
高速シートシャッターについて
技術・販売提携を結んだ。両社
は十一月から小松電機が製造す
る改良型高速シートシャッター
をそれぞれ独自の商品名で発売
する。

高速シートシャッターは、電
気制御盤メーカーである小松電
機が新分野への進出を狙って開
発、昨年八月に商品化したもの。
超音波センサーを利用し、高さ
四辺のシートシャッターでも八
秒間で自動開閉できる。またシ
ートが半透明なので出合い頭の
衝突が回避できるなど安全性も
高く、車やフォークリフトなど
の出入りが多い工場や倉庫には
最適。

今回の文化シャッターとの提
携で技術面では、シートに塩化
ビニール樹脂を使ったうえ、表
面にフッ素樹脂を塗って耐久性
を上げた。鉄製の一般シャッタ
ーとの併設設計を標準化するな
どの改良も加えた。

改良型新製品は小松電機が従
来通りの「門番」の商品名で、
同社の特約店を通じ、倉庫、工
場などのユーザーに販売。一方
文化シャッターは「エア・キー
パー」の商品名で、一般シャッ
ターとの併設販売に力を入れ
る。販売価格は間口四辺、高さ
三・六辺の標準品で一、百六十
三万二千円（工事費別）。初年
度の販売目標は、両社合わせて
二千台。